

令和7年11月20日



森づくり集団「**荅**」事務局通信 Vol.201号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2025.11.2下富第2フィールド

リンドウが咲き始めました。

【今月のお知らせ】

令和8年の山開きは1月11日（日）を予定しております。

【今月の活動報告】

10月19日(日) 初秋雨に映える赤い実 ー秋の観察会報告ー 埼玉県滑川市

参加者 / 畑、土金、渡部、小山、吉田あ、吉田ひ

活動担当者 / 松田、坂本

「栄」のメンバーによる秋の観察会が武蔵丘陵森林公園で開催された。

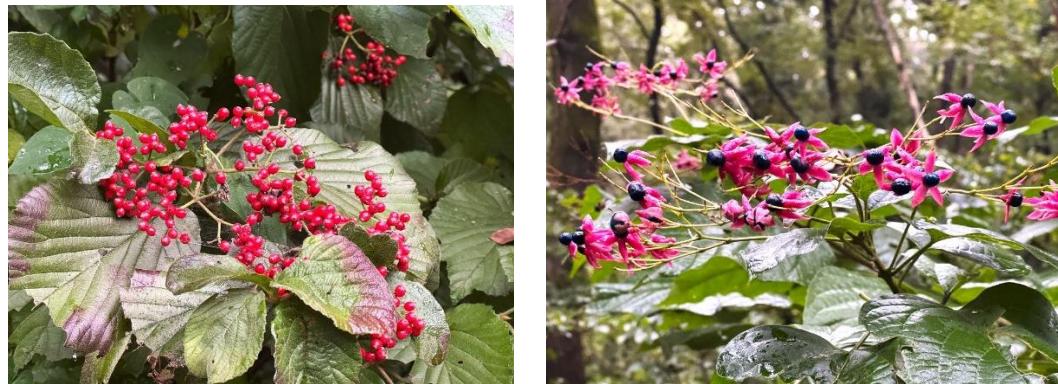
担当者である私の心掛けが悪かったのか、前日は穏やかな秋日和だったのに、当日は気まぐれのように柔らかな雨が降ったり止んだりという天候だ。

今回の観察会である武蔵丘陵森林公園は、自然が失われつつある都市の住民が緑の中で人間性を回復する場を確保するために建設された、という経緯があり、首都近郊に大規模な森林公園を造る計画の一環として、全国で最初の国営公園として開園された記念すべき公園ということらしい。公園内はなだらかな散策路が続き、四季折々の自然観察が気軽に楽しめるよう様々な工夫がされている。

さて、今回の観察会に参加した「栄」の一行は総勢8名。馴染みの植物を見つければ立ち止まり、聞きなれない小鳥が轟れば耳を傾ける。森林インストラクターを交えたメンバー編成であるが故に、ささやかな発見にも興味は尽きない。こんな状況だから行程は遅々と進まず、帰路に就くためのバスの発車時刻も気になりだし始める。観察会終了後にはお楽しみの懇親会も控えているので、なるべくなら予定どおりの時間には懇親の場に着きたい。



そぼ降る雨にひと際目を惹くのは赤い木の実たちで、マユミ、クサギの艶やかな実が行く先々で瑞々しく映えている。特に美しいルビー色の果実酒（疲労倦怠、動脈硬化として薬用効果もあるという）として代用されるガマズミの赤い実がそこかしこで目につく。



雨模様は本降りになったり霧雨になったり相変わらず気まぐれだったが、3時間あまりの観察会は参加者それぞれの収穫や想いを得て閉じようとしていた。退園ゲートを抜けるとバス停は目の前だが、すでにバスは待機していて出発間際。どうやら下調べしておいた発車時刻と場所を勘違いしていたようだ。一同ダッシュで無事乗車と相成り、やれやれという想いで車窓に目を移す。「さあ、あとは懇親会だッ」とスイッチを入れ直し、森林公園駅に向かった。



ご参加いただいた栂のみなさん、お気遣い、ご協力有り難うございました。大過なく観察会＆懇親会を終了することができました。

(報告 松田)

11月2日(日)

下富第3&第2フィールド

参加者 / 中島、豊島、畠、松田、小山

活動担当者 / 渡部、土金

一般参加者 / 秋元さん、娘さん

第3フィールドと第2フィールドの下刈りを行いました。



まず、準備体操。



第3フィールドの残り半分を刈る。



すぐに完了し、第2フィールドへ移動。



第2フィールド西側の北から刈り始める。



初参加の2人を交えて、お昼の休憩。



午後は、西側の南を刈る。



9人なので、1時間で完了。



アキノキリンソウが残っていました。

第2フィールド西側と第3フィールドは2回、第2フィールド東側は1回下刈りを実施し、今年度の下刈りを終了。

(報告 土金)

【次回の活動予定】

12月7日(日)は、第2フィールドで枯損木の伐倒処理を行います。

集合は10時に第2フィールドです。

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「**栢**」^{しほり}は、毎月第1日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れを行っています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などを企画していますので、ご興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は**下記事務局**まで

【編集後記】



小豆島の寒霞渓から瀬戸内海を望む。

土金



